



ひすい

系魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 5月号 (No. 3)

令和3年5月14日発行



春の遠足 東へ・南へ！



【中学部】神道山



【小学部】美山公園

4月28日(水)、小学部は美山公園、フォッサマグナ・ミュージアムへ、中学部は能生地区の神道山へ遠足に行ってきました。当日は、曇りで過ごしやすく、お昼にほんの少し小雨に当たりましたが、時折、日差しが差し込むなど、活動するには暑くもなく寒くもなくちょうど良い天候でした。


子どもたちは出発前から、どことなく“そわそわ”。その仕草にうれしさと期待感が溢れていました。学校を基点にして、中学部は東方見聞、小学部は南方見聞といったところでしょうか。マルコ・ポーロならぬ冒険の旅への出発です。小学部は片道3.5km程の行程を往復徒歩や車椅子で、中学部は、学校と神道山麓の駐車場間は往復バスを利用し、山登りは自前の“足”を使いました。それぞれに、日頃鍛えている脚力や腕力をフルに使って、階段や坂道を上り、目的地へ到着することができました。

小学部は、公園でみんな一緒にお弁当を食べたり、遊具で遊んだりして屋外での活動を満喫することができました。フォッサマグナ・ミュージアムでは、多くの種類の石を顕微鏡で観察したり、石で創られた造形物や地形図などを見たりしました。



中学部は、山頂に向かって伸びる1088段の階段を上りました。山頂に着くと、姫川で拾った石に自分の願いを書いて、釣り鐘の下に奉納しました。そして、一打入魂「ゴ～ン！」願いが叶いますように。その後は、麓の山荘で「いただきます！」おいしいカレーを食べました。



春は屋外での活動に適した季節です。子どもたちは、外の空気を吸い、体を動かしたことで、心も体もリフレッシュすることができました。昨年度は、新型コロナウイルスによる臨時休校措置のために、遠足を中止にしました。2年ぶりの遠足に、子どもたちだけでなく職員も  (花まる) でした。



5月の全校朝会



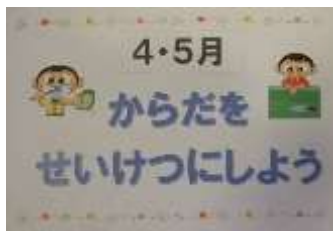
5月の連休明け、6日（木）に全校朝会を行いました。みんなそろって集会活動を行うことは、当たり前のことなのですが、昨年度、1学期の間は集会活動を実施しなかったため、今更ながらですが、子どもたちが一堂にそろって顔を合わせることができる喜びを感じています。

さて、今月の全校朝会は、生活・保健・給食のめあてに関する話がありました。学校生活を楽しく充実したものにするために大事なことです。みんなで取り組みましょう。



「元気よくあいさつをするお手本を、みんなに見せてくれる人はいませんか。」と生活指導主事の池滝先生から問われると、数人の子どもたちがすぐに挙手をしました。「それでは先生とやってみましょう。『おはようございます!』とても上手にできました。🌸です。」次は私の番だと、あいさつが終わる前に立って待つ子もいました。

あいさつは、人と人との関係作りにとっても大切な行動です。また、朝一番に元気よくあいさつをすると、心も体もすっきりさわやか、一日を気持ちよくスタートさせることができます。元気スイッチ“ON”ですね。



「5月になると天気がよくなり、外で活動することが多くなります。校外学習に出掛けたり、畑で栽培活動をしたりしますね。そうすると、汗をかいたり手が汚れたりします。そういうときは、汗を拭き取ったり石けんで手を洗ったりして、体を清潔にします。この絵の男の子は、タオルを使ってきちんと汗を拭いていますね。みんなは…」子どもたちは、集中して養護教諭の高木先生の話聞いていました。

生活スキルは、日常生活の中で繰り返し取り組んでいくことで定着していきます。学校と家庭で協力し、継続して指導していきましょう。



「給食を食べる前に、みんな何をしますか。」「手洗いです!」「そうですね。みんなは手洗いをきちんとしていますね。洗わないと手にたくさんのばい菌が付いているので、給食と一緒にばい菌も食べてしまうことになります。そうすると、お腹の具合が悪くなってしまいます。…手の洗い方を一緒にやってみましょう。始めに手をぬらして、石けんを手にとって、泡立てぶくぶく、手の甲をモミモミ…。上手ですね。」

給食主任の横浜先生の動きに合わせて、子どもたちが手洗いのまねをします。新型コロナウイルス感染予防のためにもきちんと指導していきます。